



なのはなさくら



第5号

文責 村井 隆幸

【学校教育目標】

子どもと学びを未来につなぐ～開拓者精神を受け継ぐ子どもたちのために～

全国学力・学習状況調査（結果）について

4月17日（木）に、令和7年度全国学力・学習状況調査が、全国の6年生を対象として行われました。今年度は、国語と算数と理科の3教科と学習や生活に関する質問紙調査（アンケート調査）が実施されました。その結果が7月中旬に文部科学省より公表されました。

全国学力・学習状況調査は、6年生のみが対象の調査ではありますが、本校ではこの結果を学校全体の傾向であると捉え、結果を分析した上で、今後の教育活動の改善につなげていきたいと考えています。

1 各教科の調査結果から

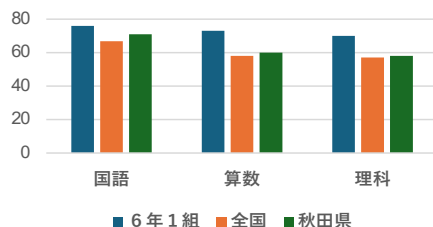
国語は、全国平均と比べて正答率が9.2%上回る結果になりました。問題別の結果からは、「話す・聞く」において、質問の意図を考えたり、相手の考えを引き出すための言葉を選択したりすることに課題が見られました。また、文章構成に関する、選択肢の言葉の意味を理解することに課題が見られました。

算数は、全国平均と比べて正答率が15%上回る結果になりました。問題別の結果からは、どの項目においても全国平均を上回り、学習内容の基礎・基本、問題解決のための思考力の定着がうかがえました。

理科は、全国平均と比べて正答率が12.9%上回る結果になりました。問題別の結果からは、どの項目においても全国平均を上回りました。ただ、学習した実験内容や重要語句の意味などの定着に個人差が見られました。

	国語	算数	理科
本校	76.0	73.0	70.0
全国	66.8	58.0	57.1
秋田県	71.0	60.0	61.0
全国との差	9.2	15.0	12.9

教科平均正答率（%）



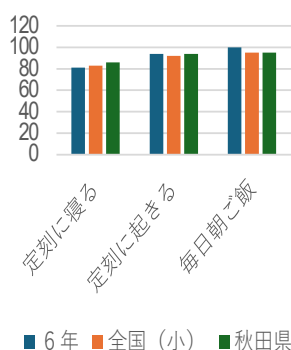
2 質問紙調査の結果から

（1）生活習慣や学習習慣について

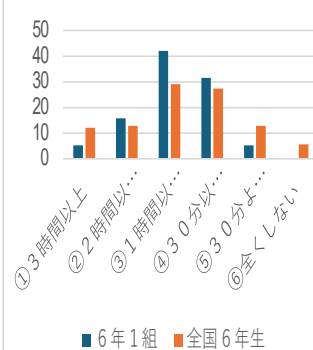
○基本的な生活習慣については、概ねよい傾向が見られました。特に、朝食を毎日食べているかについては、肯定的な意見の割合が100%でした。

○家庭学習の時間については、比較的よい状況でした。「1時間以上」が約42%、「30分以上1時間未満」が約32%と、本校で高学年の家庭学習時間の目安としている「60分」に近い結果でした。家庭学習の習慣化は、学習内容の定着につながる大切な要素です。今後は1時間未満と回答した5%の子どもの家庭学習がより充実するように支援したいと思います。

寝る起きる朝ごはん



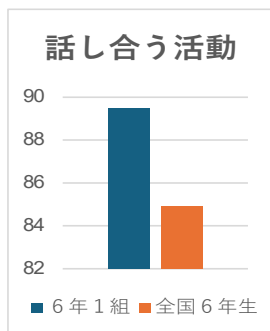
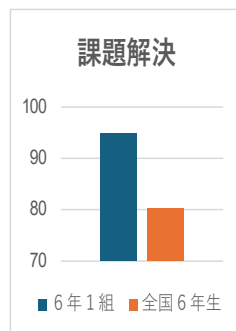
平日の家庭学習時間



(2) 学習について ※今年度の本校の重点目標に関わる項目のみ抜粋

課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。

話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広げたりしていますか。

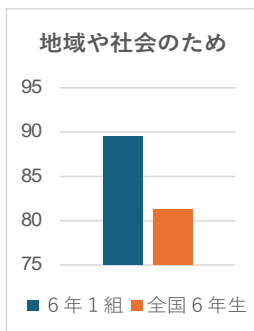
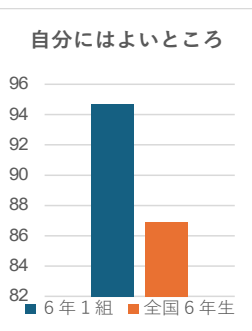


○本校では、課題解決の方法を子ども自身が設定・選択できるようにすることで、子どもが主体的に課題の解決に取り組むことができる授業を目指しています。グラフからは、肯定的に回答した子どもの割合が全国に比べて高いことが分かります。課題解決に向けて学習を見通したり、試行錯誤したりする場面を学習の過程に位置付けることで、子どもの学びに向かう力を育みたいと思います。

○「考えを伝え合い、共に学びを深める子ども」を、育みたい子どもの姿として設定し、授業改善に取り組んでいます。グラフから、話し合う活動に肯定的な回答をした子どもは約90%であり、全国平均より約5%高い割合を示しています。話し合いには、自分の考えを広げたり、深めたりする効果があります。これからも、課題解決の過程に対話的に学ぶ場面を意図的に設定したいと思います。

自分にはよいところがあると思いますか。

地域や社会をよくするために、何かしてみたいと思いますか。

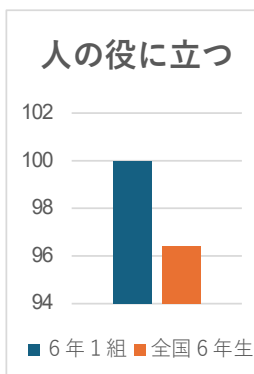
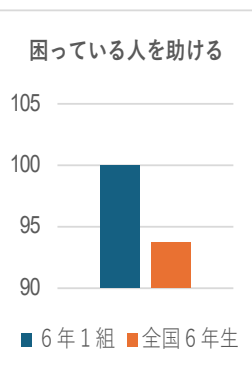


○様々な行事や縦割り班活動の実践から、自己肯定感や自己有用感の育成を目指しています。グラフから、肯定的に回答した子どもの割合が約95%と全国平均より、約8%高い割合を示しています。今後も特別活動やキャリア教育の充実を図り、自尊感情を高めていきたいと思っています。

○「地域や社会のために何かしてみたい」と考えている子どもの割合は、約90%と全国平均を約7%上回っています。本校では、総合的な学習の時間に係る様々な体験活動、クラブ活動、読み聞かせ活動など、多くの場面で地域の皆様から御協力をいただいています。このように、自分たちは地域の方々に支えられているという思いが、自分も地域の一員として貢献したいという思いにつながっているものと考えます。今後はその思いを、地域に発信したり実践したりできるよう努めていきたいと思っています。

人が困っているときは、進んで助けていますか。

人の役に立つ人間になりたいと思いますか。



○道徳教育の充実、異学年交流、他校種連携等を実施し、互いを尊重する共感的な人間関係づくりや思いやりの心を育む教育活動の充実を目指しています。グラフから、肯定的に回答した子どもの割合が100%と全国平均より、約6%高い割合を示しています。本校の子どもたちの優しさがうかがえます。今後も全教育活動を通した、道徳教育の充実に努めていきたいと思っています。

○「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問には、肯定的な回答をした子どもが100%という結果でした。学校のみならず、家庭や地域コミュニティでの活動を通して、他者と関わることのよさや、集団の中で役割を果たすことの意義について、実感を伴った理解を深めている様子が表れているものと思います。今後も、地域や自然とのつながりを実感できる体験活動を充実させ、感動と共感を生む教育活動を展開していこうと思います。

(3) その他

「学校に行くのが楽しい」という質問に、本校では約95%が肯定的に回答しており、全国平均より約8%高い割合を示しています。子どもたちが、明日も学校に行きたくなるような取組を今後も継続していきます。